

ひろか

だより

第380号

令和6年3月18日

発行

弘果 弘前中央青果株式会社

TEL 0172-27-5511

弘果



期待を込め 一本一本丁寧に定植を行う

「アムさん」は6月上旬に収穫される予定です。

今年定植された「アムさん」は6月上旬に収穫される予定です。

つがりあんメロン アムさん



定期待込め 定植始まる

つがる市木造地区の阿部祐一さん、松橋尚子さん、山谷文人さんのハウスでは3月1日、つがりあんメロン「アムさん」の定植が始まりました。

昨年の初競りでは、秀2玉サイズ1箱が33万円で取引され、過去最高値を更新しました。今年も高値取引での期待が高まります。

当日は阿部さん、松橋さん、山谷さんとスナッフ、そして青森オアシナルメロン生産連絡協議会の渋谷充会長も来園し、一本一本丁寧に定植を行いました。3月上旬までには全6棟のハウス(20坪相当)に約1700本の苗が定植される予定です。今後は、温泉熱を利用して温度管理を行う等、栽培管理を徹底することで、食味・品質が良いメロンに仕上げていきます。

阿部さんは「つがりあん」ブランドのメロンは、食味良く高品質であるという価値を高めていくことで、知名度や評価が高まり、より多くの人に味わってもらおうことを期待しています」と話していました。

松橋さんは「昨年の過去最高値を生産の励みとして、更なる食味や高品質生産に努めていきたい。そのためには、近年の天候不順で気温等の予測が難しいですが、温度管理等の栽培管理を徹底し、甘くて美味しいメロンで高評価をいただけるように励んでいきます」と意気込みました。



講演会では実践的な事例を紹介

弘果総研りんご高密集栽培研究会(田中一幸会長)では2月27日、「令和5年度高密集栽培実証及びモデル栽培事業反省会」を行い、会員や関係者14名が参加しました。

冒頭では会員の高密集栽培は勿論、一部丸葉、わい化栽培を含めた5年産りんごの調査報告が行われ、栽培を振り返りながら参加者全員で良かった点・改善点などを挙げ、次の栽培に向けての取り組みや目標について活発な話し合いが行われました。また、各園地のりんごを試食し、試験者の生育年数や栽培方法によるりんごの違いを比較していました。

参加者からは、「栽培方法や樹の年数の違いが味に表れていて、食べ比べができたのは大変参考になりました。振り返りや講演会を通して栽培のアイデアやアドバイスをもらったので、



高密集栽培りんごの品質・食味を確認

さっそく自分の畑で試してみたいと思います」と話していました。

その後、長野県で高密集栽培を長年実践している農業法人「株式会社むぎわらぼうし」代表取締役の大河征典氏による講演会が行われ、樹の年数による作業変化などに参加者は熱心に聞き入っていました。

田中会長は「高密集栽培が盛んなヨーロッパと日本では、気候の違いが大きいので、日本および青森の風土に合わせた栽培方法を確立することが大切だと考えます。また、樹の年数や品種によっても違いがあるので、様々なデータを取りマニュアル化できれば、高密集栽培に取り組みやすくなると思います。今後は調査やデータ収集を進め、高密集栽培

りんご高密集栽培の未来に向けて反省会開催

による改植、新植を計画している生産者の負担軽減を図るため、10町あたり10万円までの支援を行います。

申込は令和6年3月30日までとなっております。苗木の手配についてお悩み、20人の枠を確保してまいります。苗木の手配についてもあつせんしておりますので、是非この機会に、生産性の



「いち姫」本人?が登場した大盛況の試食販売

「いち姫」登場!

田舎館いちご研究会(平川剛志会長)が出荷するいちごは、田舎館ご当地キャラクター「いち姫」がデザインされたパッケージをまとい、「食味」「品質」にとことんこだわって生産しています。そして、

田舎館いちご試食販売大盛況

て、青森県内外へ「いちごの産地」田舎館「美味しいいちご」田舎館産を発信しています。

同研究会では、更なる認知度向上と販売促進を目的として2月24日(土)に、アールカディア店で会員7名、3月2日(土)に弘前東店で会員4名による試食販売を行いました。3月2日は「いち姫」が助っ人として参上し、「本人?」がデザインされたパッケージのいちごを、来客に試食を勧め交

流を図る等のプロモーションを行いました。試食した人からは「おいしいこの声があがり、いちごのバックを買い求めました。」

平川会長は「『いち姫』ご本人登場による効果もあり、手に取って食べていただく方が多く、品質や食味を評価していただくことで、リピーターとなっていただけばうれしいです。我々も直にお客様の意見を聞くことができ、今後の生産の励みとなります」と話していました。



同事業 QRコード

家庭の銀行 みちのく銀行 りんご生産者対象 産地市場活性化ローン

対象者	以下の①②両方を満たす個人事業主および法人(NPO法人は対象外) ①青森県内でりんごの生産を行っている方 ②両市場へりんごを販売される方
使いみち	営農資金 融資期間 1年以内
固定金利	①固定金利 1.350%~4.000% (申告内容によって適用金利を設定させていただきます) ②金利優遇 農業共済に加入していることが証明された場合に上記金利から0.200%優遇いたします。
取扱店	〈弘果弘前中央青果(株) 担当店〉 城東支店 0172-27-6701 〈(株)津軽りんご市場 担当店〉 板柳南支店 0172-73-2121 弘前営業部 0172-32-2111 堅田支店 0172-35-1400 下土手町支店 0172-32-4211 松原支店 0172-87-5511 黒石内町支店 0172-52-2155 木造支店 0173-42-2145 五所川原中央支店 0173-35-2101 上記、該当店の法人営業課がご対応いたします。

みちのく銀行が弘果と津軽りんご市場と提携し、りんご生産者向けの金融支援として、運転資金制度「産地市場活性化ローン」を開発し、取り扱っています。

同制度は、両市場にりんごを出荷する県内の個人事業主と法人が対象で、出荷したりんご売上代金を担保に融資し、営農に限る運転資金として利用できます。

不動産担保、保証人不要で、借入れしやすくなっております。金利については、みちのく銀行所定の固定金利で、農業共済に加入している場合は、年0.2%金利を引き下げることができます。融資の期間は1年、限度額は300万円以内で、市場への出荷箱数により変わります。また、両市場に出荷実績のない方でも、これから出荷することでご利用できます。

詳細はお近くの同ローン取扱店(別表参照)へご来店及びお問い合わせください。

尚、両市場で実施している「りんご予約金制度」は変わらぬにお使いいただけますので、こちらも引き続きご利用ください。

「農」の「業」を継ぐ 期待の後継者



大谷 章人さん (24)
 家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【園地所在地】 藤崎町藤越
 【作付状況】 栗こ南瓜・45ア、りんご・10ア、米・12ア

【就農年】 2022年
 【きっかけ】 米農家に生まれ育ちましたが、家業に全く興味が無く、高校卒業後は県内で製造業に従事した後、夢（ここでは言えませんが・・・）を追って上京し、実現に向けてアルバイトの日々を送っていました。そして、夢に破れ現実を知った頃になったタイ

ミンクで、家族や周りから「農業をやってみないか」と話がありました。家業を継ぐという発想がなかった私にとってはまさに、銘柄米のネーミングと同様の「青天の霹靂（へきれき）（意味＝予想だにしない出来事が突然起こる）」な申し出でしたが、ここまでやってこれたのも、理解ある家族のおかげであるという気持ちがあり、それに報いるためにも、帰郷して就農する決意をしました。

【現在】 ゼロからのスタートと言っても過言ではなく、毎日の仕事に常に新しい発見の連続でした。農業は、建設、機械、薬品等の知識と技術が必要なこともあり、各分野のスキルを高めるため、実践と勉強に励んでいます。また家業では、農業経営の多角化を考えており、現在は弘果の協力で「栗こ南瓜」を作付けし、懇切丁寧な栽培指導もあり、初収穫となりました。

【夢・展望】 家業の多角化の一環

として、自分の栽培品目を持つことが目標です。今は家業の研修的な立ち位置で日々仕事に励んでいます。近い将来に向けて栽培品目の選定に余念がありません。栗こ南瓜の栽培以来弘果とのつながりも出来たので、栽培指導、出荷・販売面で非常に心強く、大いに期待しています。

【座右の銘】 「人生が夢をつくるのではない。夢が人生をつくるのだ」私と名前が似ている（笑）メジャーリーガー大谷翔平選手の言葉です。この名前のおかげで、すぐに覚えてもらえるので、とても光栄です。夢を持ち、それに向かって努力することが、豊かな人生を築く礎であることを教えてくれた言葉であり、現在の「夢」を実現するために、困難や挫折に立ち向かい、継続していくことが大事だと考えています。



2024シーズンニュース やまがた雪未来国スポ



弘果SRC（スキーシングルクラブ）の土屋正恵選手、横濱汐莉選手、小林萌子選手が国内主要レースに参戦し、優勝をはじめ、上位入賞を果たす等、健闘しました。

第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」は第3日の2月23日に、女子クロスカントリーが行われました。弘果SRCからは、土屋選手が成年B、横濱、小林両選手が成年Aに出場し、成年Bでは土屋選手が全カテゴリーの中で唯一14分台と、圧巻のタイムで優勝しました。成年Aでは横濱選手が準優勝、小林選手が5位入賞を果たしました。



第4日の2月24日に行われた女子リレーには、青森県代表として横濱選手が3走、土屋選手が4走で出場し、横濱、土屋両選手が区間1位のタイムで意地を見せるも優勝には届かず、青森県として4大会ぶりの3位となりました。

やまがた国スポ 大会結果

2月23日（金）
 女子5キクラシカル
 【成年女子B】
 1位 土屋 14分40秒1
 【成年女子A】
 2位 横濱 15分32秒4
 5位 小林 15分48秒2
 2月24日（土）
 女子4×5キリレー
 3位 青森 56分23秒3
 （横濱3走、土屋4走）



第102回天皇杯全日本スキー選手権大会女子クロスカントリーは、札幌市白旗山競技場で3月4日〜7日にかけて行われました。

第1日の3月4日に行われた女子フリーでは、土屋選手が1位、横濱選手が2位でゴールし、ワントゥフィニッシュを飾りました。小林選手は11位と健闘しました。

第2日の3月6日に行われた女子クラシカルでは、土屋選手が初日の怪我の影響から大事を取って欠場しました。横濱、小林両選手は実力を発揮し、横濱選手は2位に30秒の大差をつけ優勝、小林選手は5位と上位入賞を果たしました。

第3日の3月7日に行われた女子リレーでは、3選手が揃い優勝への期待が高まる中スタートし、1走の小林選手がトップと16秒差で2走の横濱選手へつなぐと、2キ地点で、区間1位の走り逆転しトップに立ち、2位を引き離してアンカー3走



ゴール直後 喜びを分かち合う選手たち



横濱選手からアンカー土屋選手へつなぐ

全日本スキー選手権 大会結果

3月4日（月）
 女子30キフリー
 1位 土屋 1時間34分13秒2
 2位 横濱 1時間34分13秒8
 小林 1時間43分22秒7

3月6日（水）
 女子15キクラシカル
 1位 横濱 49分50秒2
 5位 小林 51分37秒6

3月7日（木）
 女子3×5キリレー
 1位 弘果SRC 45分42秒9
 2走・横濱 16分36秒5
 1走・小林 14分35秒9
 3走・土屋 14分30秒5



表彰で歓喜する選手たち



設置されたコンフューザーR

効果実証！広範囲でコンフューザーRを設置しよう

令和6年りんご病害虫防除暦に交信かく乱剤コンフューザーRが採用されました。コンフューザーRとは、性フェロモンを放出することにより対象害虫の交尾を阻害し、次世代の害虫発生を抑制するもので、モモン

ンクイガ、ナシヒメシンクイ、リンゴゴカクモンハマキ、ミダレカクモンハマキ、リゴンモンハマキに効果があります。コンフューザーRが採用された理由として、昨年夏の記録的猛暑など温暖化の影響からモモンシンクイガ等シンクイムシ類の被害拡大や、ハマキムシ類における殺虫剤の効果が低下が懸念されること、また農薬の再評価制度に伴う殺虫剤の登録失効などが挙げられます。

弘果総合研究開発では、これまでもコンフューザーRを設置している園地と、設置していない園地でそれぞれのトラップに捕獲された害虫の捕獲数調査を行っており、令和5年度は、津軽地域13園地で調査しました。結果は13園地すべてで、設置し

つばきピーチ さくら白桃 苗木購入半額助成

弘果オリジナルブランド「つばきあんピーチ」は、選果機を使用した信頼の品質で、生産者の労力軽減、所得向上を目的にブランド展開をしています。弘果では現在、「つばきあんピーチ」の晩生種目である「さくら白桃」の生産拡大を目的に、苗木購入半額助成を実施しております。詳細につきましては、弘果果実部までお問い合わせください。